

COLUMN

観光学の使命：持続可能な地域づくりへの貢献



本学部は、持続可能な観光のあり方を研究教育の基盤に置いています。現在、訪日外国人観光客の急増により都市部ではオーバーツーリズム問題が再燃し、観光の意義が問われている一方で、地方部においては人口減少による地域経済の縮小が懸念されており、観光振興を通じた交流人口や関係人口の拡大や経済の活性化が求められています。私たちは、多様な学問分野を横断する総合性・学際性を特徴とする観光学を通じて、持続可能で責任ある観光を推進し、地域社会の発展に貢献する人材の育成を目指しています。

PICK-UP 持続可能な観光戦略を推進する与論町との協力関係



共に地域づくりを進めよう。川剛志教授、島学生たち、島の地域資源を

SDGsを目指す... みた... 出している。

Hot Topics 観光地域を支える専門人材育成：専門職大学院の設置



Hot Topics

OB/OG Interview



高竹瑞恵さん (2017年度卒) 環境省大山隠岐国立公園隠岐管理官事務所、自然保護官補佐 / アクティブレジャー

「観光」は多岐に渡る業界と連携できること、そして自然環境や地域文化を後世に遺すため、サステナブルな視点で考えるべき分野であることを4年間で学びました。

卒業後は地域に関わる仕事に就きたいと思い、住宅メーカー、観光コンサルティング会社を経て、現職に就きました。現在は隠岐島で国立公園の自然保護や情報発信、自然ふれあいイベントの企画などに携わっています。観光学部での学びを通し、「地域文化を理解し、利活用することで守られる自然がある」という思いで取り組んでいます。



山田マミさん (2016年度卒業) リゾートトラスト株式会社営業職

学部では観光地経営などを学びました。また、フィールドワークの一環として観光資源の発掘を地域の方々と共に行うなかで、より人々に求められる観光地の創造にとって

重要なホスピタリティについての学びを得ました。現在は「エクセレントホスピタリティ」の追求を経営理念のひとつに掲げる会社の営業部門で課長補佐を務めています。会員制ホテルの会員権販売が主な業務です。お客様に喜んで頂けるホテルサービスを提供し、顧客満足度向上に努め、新規顧客や既存顧客への営業活動に繋がっています。



を通して多種多様な社会と文化に触れ、他者への理解や想像力を培うことができたおかげで、インバウンド観光の誘致においても大変役立っています。一人でも多くの旅行者に日本の奥深い魅力を伝え、受け入れ側にとっても文化・社会的利益がもたらされるような、持続可能な社会づくりに貢献できればと思います。



和歌山大学観光学部は国立大学唯一の観光学部として、これからの観光をリードする国際的、学際的視点を持った観光人材の育成と、観光教育研究における日本、アジアの拠点となることを目指している。学部の特色などについて大浦由美学部長に話を聞いた。



国際的な視野と課題解決力を培う実践型教育プログラム



多様な文化的背景に理解し合える力を養います。は語学力、アカデミック、専門性を深め基礎を学びます。専門科目を履修し、知識を修得。最終的に高度な英語力で習得が理想です。上げたり、国内外に活躍する学生もいます。は、英語力強化、調査研究を伴った観光機関と連携した海外研修プログラムを実施しています。は、学生の関心、地域づくりに参加する活動に課題の発見や新提案する能力を身に付け、今年度は203件の提案が実現しています。は、今年度は203件の提案が実現しています。は、今年度は203件の提案が実現しています。

地域再生に貢献し、観光のプロフェッショナル育成、輩出が使命



LPP(上:湯浅町/下:有田市)

2023年度の就職率は98.3% (就職者数117名/就職希望者数119名)で、卒業生は観光関連産業をはじめ、不動産業、金融業、卸売や小売業など様々な分野に就いています。観光に関連する分野は多岐にわたり、本学部で習得した専門知識や実践力が職種を超えて活かされていると感じます。コロナ禍を経て、持続可能な観光のあり方など観光が根本から問い直されているいま、地方の課題を解決して地域再生に貢献することや、大学院教育を通じてより高度なプロフェッショナル、指導的立場の人材を育成して世に送り出していくことは本学部/研究科の社会的使命だと考えています。本学部が用意する多彩な教育プログラムを積極的に活用して、よりよい観光の未来をともに切り拓いていきます。

